

【福岡】福岡ロジテック(永山浩二社長、糟屋郡宇美町)は4日、大分県由布院倶楽部で第22期経営大会を開催。21期の決算報告や22期の目標発表などを行った。

今大会は「安全はすべてを優先する 安全プロジェクト計画の実施」と題し、経営計画を発表。同社は「親切を売れる会社になる」という経営理念を掲げており、平成29年度経営概況では、「安さ・速さを求め運賃値上げ交渉が続く中、さらなる競争の激化や



福岡ロジテック 第22期経営大会

ドライバーの高齢化など厳しい状況」としながらも、「労働環境の改善へ邁進し、安全な会社、事故のない会社を目指し、安全最優先で取り組んでいく」と発表した。

同社では人工知能や自動運転など、技術革新の動きを捉え、「自動運転でドライバーの仕事が追われることであっても、管理することは必要であり、新たな需要が生まれる」とし、物事を冷静に見つめ、10年後を見据えている。そのため、同社では「時代を味方に付ける未来を掲げる会社でありたい」を経営理念に追加。「将来を見通す」＝「今を全力で生きることの延長線上」と定義し、「時代の変化にすばやく対応し、前へ前へと歩み続ける強い会社を目指す」と同社長は意気込む。

同社は永山社長のブランディング戦略の中、自社の強

「安全はすべてを優先する」合言葉に

みを生かした「自分ブランドの創造」をテーマとし、「長所や持ち味を生かしたシステムを作り、得意技をやること」が重要だとし、その結果、6月に札幌で開催された日貨協連の通常総会並びにトラック運送事業協同組合全国大会で、平成29年度WebK I T表彰で荷物情報成約件数部門、車両情報成約件数部門で1位を獲得した。

第22期へのチャレンジとして「時代の変革は早い。変わりゆく時代の変化に対応できる会社、柔軟に対応できる乗務員を育てる会社が生き残る」とし、「安全はすべてを優先する」を合言葉に安全プロジェクトを実施していく、とした。

また、同会で同社永山美由紀取締役の取締役副社長への就任を発表。今後の事業戦略に期待がかかる。(青柳 翼)